

平成20年4月から特定保健指導が始まっています

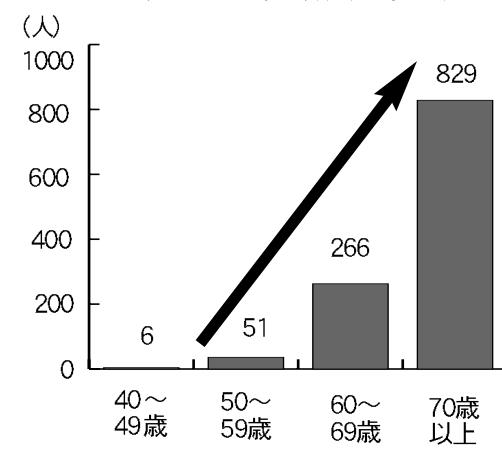
特定保健指導が始まっています

平成20年度からスタートする特定健診と特定保健指導は生活習慣病を予防することにより増加し続ける医療費を抑制するものです。広報11月号ではこれまでの健診との違いをお知らせしましたが、今月号では津別町における生活習慣病の医療費と現状についてお知らせします。

津別町では生活習慣病の中で高血圧治療が一番多いです。3人に1人が虚血性心疾患で治療を受けています。



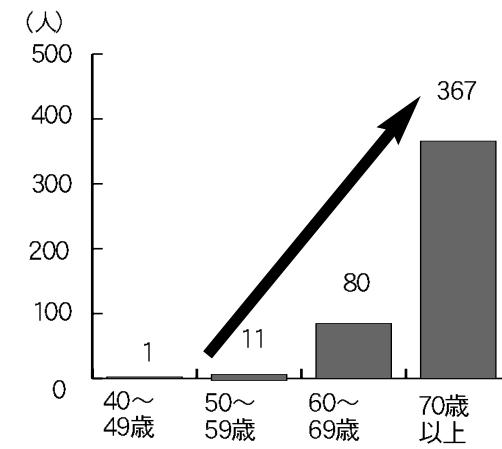
【グラフ1】高血圧の治療者数（18年4月）



化しており40歳代から増え始めおり、50歳代と60歳代を比べると5倍、70歳代では13倍に増えています。

特に虚血性心疾患【グラフ2参照】の50歳代と60歳代を比べると7倍、70歳代では33倍に増加、脳血管疾患、糖尿病も60歳代で急増しています。

【グラフ2】虚血性心疾患の治療者数（18年4月）



【例1】Aさん（59歳）、心筋梗塞で倒れました！

軽症高血圧	← 未受診 →	左室肥大	心筋梗塞
高脂血症			
重症高血圧			

50歳 51歳 52歳 53歳 54歳 55歳 56歳 57歳 58歳 59歳

・自分の体はなんともない。忙しくて毎年受けられません。
・要注意、やや高めなら数年おきでいいだうと思っていました。



将来、虚血性心疾患、脳血管疾患、腎不全を引き起こします。

【例1】Aさんは59歳で、心筋梗塞で倒れました。これは軽い高血圧でした。が検診を定期的に受けなかつたため、病状が悪化し10年後には心筋梗塞で倒れてしまいました。

これからも分かること、おり、予防するには、高血压、高脂血症、糖尿病の予防そして治療をしっかりと受けけること、が大事なことです。

生活習慣病の予防や悪化を防止しましょう

あなたのからだは大丈夫？

※まず、健診を受けて自分の体をチェックしてください。

健診受診者は40歳～74歳で高血圧などで治療中の方も受けることができます。いままで治療中の方にはご遠慮していただきましたが来年度から対象となります。ただし、町が実施する対象者は、国民健康保険加入者と生活保護などで保険証を持っていない方です。

それ以外の方は保険証本人の職場で確認してください。

健診受診後は、保健師と栄養士が皆さんの検診結果により生活習慣病の予防や悪化防止のために、個人面接や運動・栄養教室などを開催します。



- ◎詳しいお知らせは広報4月号と折り込みチラシでお知らせします。
- ◎健康推進係では自治会などに出向いて出前健康講座を開催しています。今回の内容の詳細や健診について、健康づくりのお話しをすることができるので役場健康推進係☎ 76-2151内線231・232までお気軽に問い合わせください。

【津別町の年間医療費は16億3200万円です】

皆さん津別町で、どれくらい国保の医療費がかかりいるか存じでしょうか？

【70歳代の高血圧の受診者は50歳代の16倍です】

皆さん津別町で、どれくらい国保の医療費がかかりいるか存じでしょうか？

皆さん津別町で、どれくらい国保の医療費がかかりいるか存じでしょうか？

皆さん津別町で、どれくらい国保の医療費がかかりいるか存じでしょうか？

【表1】津別町の生活習慣病にかかる医療費

病名	総費用額(円)	受診件数(件)	受診割合(%)
高 血 圧	61,315,410	1,156	76.7
糖 尿 病	42,323,070	411	27.3
虚 血 性 心 疾 患	32,299,380	461	30.6
高 脂 血 症	27,825,450	666	44.2
脳 血 管 疾 患	27,306,180	334	22.1
高 尿 酸 血 症	4,908,250	101	6.7
腎 不 全	4,888,610	12	0.8

※一人がひとつの病気ではないので重複しています



生活習慣病とは…生活習慣が積み重なって発症する病気のこと。高血圧や糖尿病、高脂血症、痛風、脳血管疾患、心疾患、悪性新生物などを含みます。

高脂血症とは…血液中のコレステロールや中性脂肪、悪玉コレステロールなどが多い状態のことをいいます。

虚血性心疾患とは…心筋梗塞や狭心症のことをいいます。

脳血管疾患とは…脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などをいいます。